

第5回 下松市地域公共交通活性化協議会

議事要旨

○日時：平成29年6月13日（火）10:00～

○場所：下松市役所 1階 103会議室

○出席委員：18名（欠席2名）

玉井委員、寶迫委員、河内委員、弘委員、清水委員、田中委員、熊谷委員、吉岡委員、古田（尊）委員、宗像委員、石隅氏（手嶋委員代理）、大下委員、西村委員、古本委員、永田委員、今井氏（京牟礼委員代理）、安野委員、金織委員

○事務局：企画財政課、株式会社バイタルリード

1 開会

2 議事

(1) 下松市地域公共交通網形成計画案について

発言者	発言要旨
会長	議事の1つ目である下松市地域公共交通網形成計画案について、事務局の方からご説明願いたい。
事務局	先日パブリックコメントを実施したが、意見はなかった。計画案の変更箇所についてバイタルリードより説明する。
(バイタルリードよりP50：目標3-1について、変更内容を説明)	
事務局	ほかの委員からの意見を紹介する。 古田委員から、表や画像などについて、見えにくい箇所等があるとの指摘があった。事務局の方で調整させていただきたい。 熊谷委員から、周防花岡駅について自転車置き場の雨よけや個々の柵が必要ではないかとの意見をいただいた。実施の検討段階で、個別に対応が必要なものの1つとしてこちらで記録させていただきたい。
会長	ご意見、ご質問をいただきたい。
委員	修正のあった目標3-1は、P43に掲げてある目標に対する指標である。P43の目標には「利用実態に応じた効率的な路線網を構築する」とあり、利用する市民一人当たりの補助金額を指標としている。指標については理解できるが、これだけを読むと、補助金路線を減らせば達成できると読み替えることもできる。利用者を増やすなどという文言をP43等に入れておかないと、補助金を減らせばよいというところに結びついてしまうのではないかと危惧している。
事務局	ご意見は理解した。計画が指標にそのような文言を盛り込む方向で検討する。
会長	そのほかに意見はないか。案として策定の段階であるので、言いそびれたこと、もっと検討すべきことなどあれば遠慮なく発言していただきたい。
	(意見なし)
会長	また最後に意見を聞く機会を設ける。

(2) 今後のスケジュールについて

発言者	発言要旨
会長	事務局からスケジュールについての説明をお願いしたい。
事務局	来週早々に部長以上の会議に報告し、その意見を踏まえ、市長決裁を受ける予定で、6月末の完成を見込んでいる。印刷物ができあがり次第、委員の皆さまにも郵送する。その後は、交通事業者や商業施設等の関係者と個々に施策を協議していき、一定の方向性が出てくる、もしくはある程度進んでご相談したい事項等があるところでまたこのような会を開催したい。スケジュールについては以上である。
会長	協議会は一応今回で終了であるが、任期は2年ある。今年度中はお集まりいただくこともありうる。質問はないか。
委員	目標3-1の評価指数について、防長交通の懸念は同感である。目標3-1の評価サイクルは5年毎となっている。補助金申請は毎年のことであるが、利用者の増減の評価は難しいのか。なぜ5年サイクルに設定されているのか。
事務局	おっしゃる通り、利用者数はアンケートで把握することとしており、アンケートを毎年実施することは可能である。しかし、最近総合戦略や人口ビジョンの策定などがあり、アンケートを実施しすぎることによって市民からお叱りをいただくことがあり、アンケートは3～5年毎がぎりぎりかと思う。この計画としては5年のスパンとしたいが、それとは別に、公表の範囲は分からないが、補足的に内々で利用者数を把握していきたいと考えている。
会長	そのほかにご意見はないか。全体を通しての意見でも構わない。
委員	P35の乗り継ぎについて、子が光市の高校に通学している。自宅の近くにバス停があり、雨の日はバスを利用していた。しかし、雨の日はバスが遅れるため、JRに乗継ぎが間に合わないかもしれないと、バスを利用しなくなってしまった。通学・通勤の乗り継ぎ路線は、ダイヤ改正でしか対応できないのか。防長交通にお伺いしたい。
委員	ご迷惑をおかけして申し訳ない。雨の日は道路が渋滞するほか、特にバスの利用者も多く通常よりも時間がかかっているのだと思う。JRに間に合わず、ご不便をおかけして申し訳ない。時刻を早めれば通常時に時間が空きすぎることもあり非常に難しい。ご要望に対しては可能な限り改正のタイミングで対応したい。すべての要望に対応することはできないが、ご理解いただきたい。
会長	他にご意見はないか。身近な話題でもよい。この計画はマスタープランとして位置付けている。マスタープランとして盛り込むべきことがあれば、ぜひご意見をいただきたい。
	(意見なし)
会長	それではご意見がないので審議を終了する。事務局から何かあるか。
事務局	策定にご協力いただき、ありがとうございます。計画はこれで策定となるが、策定後が本番である。実施にあたり、各方面へお願いごとがあるとき、委員の皆さまを通じてお願いすることもあるかもしれない。引き続きご協力をお願いしたい。
会長	事業者、利用者、行政、それぞれの立場からのご意見で協議会を進め

	<p>てきた。これを機に市民の足となる公共交通をいかにするか、意思統一が図れたと思う。今回のマスタープラン作成にあたっては、委員の皆さまから貴重な意見をありがとうございました。今後ともよろしくお願ひしたい。以上で、第5回下松市地域公共交通活性化協議会を閉会する。</p>
--	---

10 : 26 終了